

取り付け

 警告	●取り付けは、必ず電源を遮断してから行ってください。
 注意	●高所での作業になります。 必ず足元の安全を確保してから行ってください。

1. 天井についている配線器具(引掛シーリング・ローゼット)の寸法と形状を確認する

※下図以外の配線器具、または配線器具が無い配線だけのものは取り付けできません。電気店、または工事店に工事を依頼してください。
※資格のない方の工事は法律で禁止されています。

天井からの出し	20mm以上24mm未満				10mm以上14mm未満	
	角型引掛シーリング	丸型引掛シーリング・ローゼット			埋込引掛ローゼット	
形状						

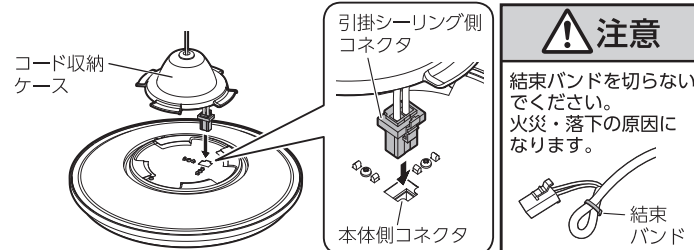
<側面図>

天井 引出し
配線器具

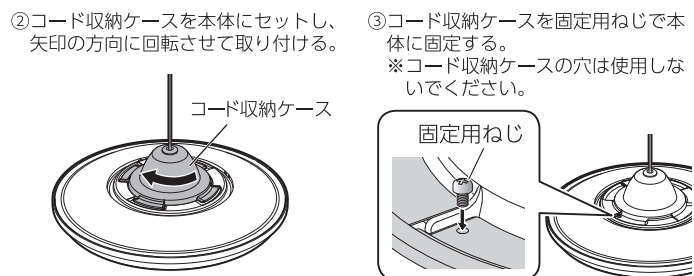
※ローゼットの耳部にねじが付いている場合は、ねじを外してから照明器具を取り付けてください。

2. 本体にコード収納ケースを取り付ける

①引掛シーリング側のコネクタを本体側のコネクタに接続する。
※「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

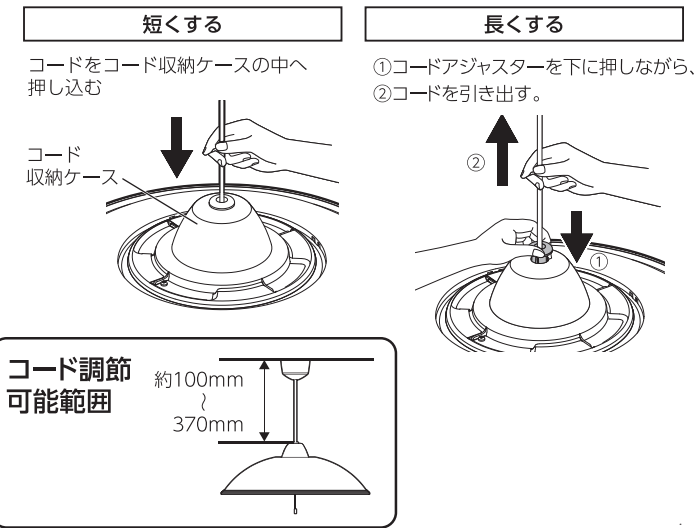


注意
結束バンドを切らないでください。
火災・落下の原因になります。



3. コードの長さを調節する

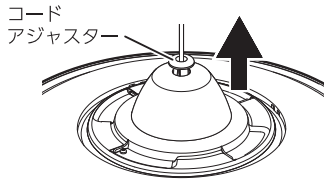
配線器具に取り付ける前にコードの長さを調節します。
コードの長さを調節する時は、やわらかい布などの上にライトを置いて調節してください。(固い床の上などで行うと、床や本体が傷つく原因になります。)



コード調節可能範囲
約100mm
370mm

4. コードを固定する

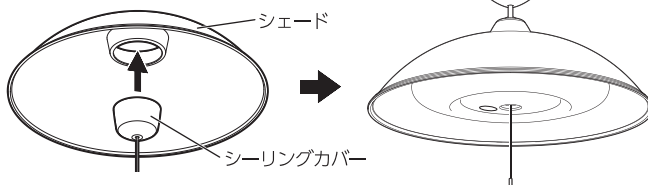
コードの長さを調節したら、コードアジャスターを上引き上げ、コードを固定します。



注意

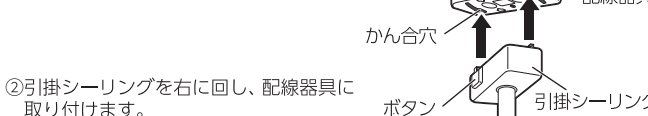
- コードを固定したら、一度コードを上引き上げ、確実に固定されていることを確認してください。
- コードアジャスターが斜めになっていると、本体が傾くことがありますので、コードアジャスターは水平になるように調節してください。

5. シェードを本体にかぶせる

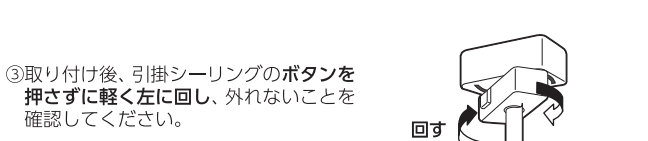


6. 天井の配線器具に、引掛シーリングを取り付ける

①配線器具のかん合穴に、引掛シーリングの引掛金具を差し込んでください。

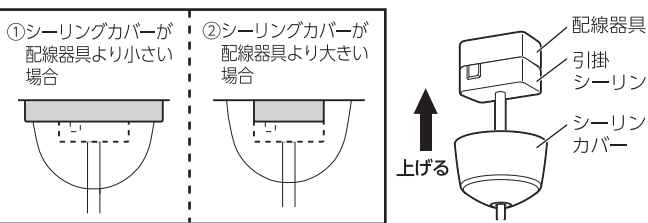


②引掛シーリングを右に回し、配線器具に取り付けます。



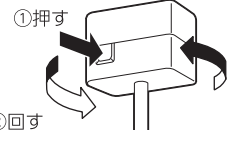
③取り付け後、引掛シーリングのボタンを押さずに軽く左に回し、外れないことを確認してください。

7. シーリングカバーを引き上げる



取り外し

①引掛シーリングのボタンを押しながら、
②引掛シーリングを左に回し、取り外す。

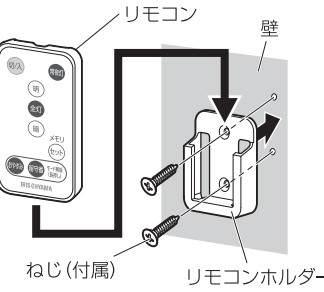


警告
●取り外しは必ず電源を遮断してから行ってください。
●消灯直後は照明器具が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから取り外してください。

注意
●本体を片方の手で支えながら外してください。本体の落下によるけがや破損の原因になります。

リモコン収納のしかた

リモコンホルダーを壁に取り付け、壁掛け収納ができます。
※収納した状態では操作しなください。



明かりをつける

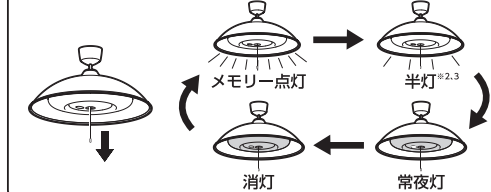
■壁スイッチで明かりをつける

壁スイッチ「ON」
→点灯※1(ラスト点灯)
壁スイッチを切る前の明かりを再現します。



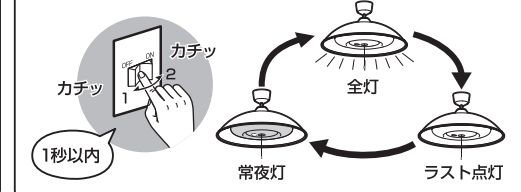
■プルスイッチで点灯状態を切り替える

壁スイッチをONにした状態で、プルスイッチを引くと、点灯状態を切り替えることができます。



■壁スイッチで点灯状態を切り替える

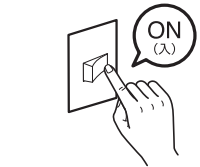
壁スイッチをONにした状態で、短く(1秒以内)スイッチを操作することで、点灯状態を切り替えることができます。



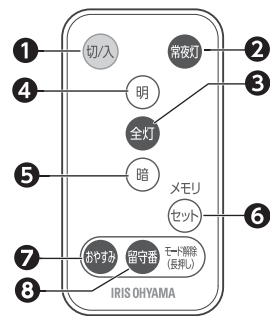
※1: 壁スイッチをONにしても点灯しない場合は、プルスイッチを引くか、壁スイッチを短く(1秒以内)操作してください。または、リモコンで点灯させてください。
※2: 半灯とは、現在点灯している明るさの約半分の消費電力の明るさです。ただし、現在最小で点灯しているときの半灯は、最小点灯のままとなります。
※3: メモリー最小調光時は半灯状態にはならず、常夜灯になります。

リモコンで操作する

①壁スイッチを「ON」にする



②リモコンを本体に向けてボタンを操作する

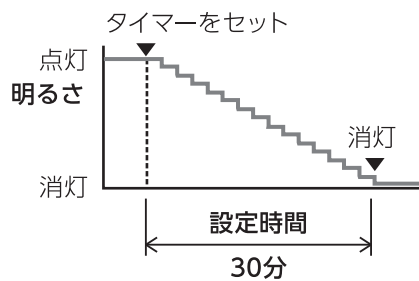


- ・点灯直後や調光直後などに、リモコン信号を受信しにくくなる場合があります。その際は少し時間をおいて、再度リモコンを操作してください。
- ・リモコンで消灯しても、約0.2Wの電力を消費しています。長期間使用しない場合は、壁スイッチを切ってください。

おやすみタイマーを使う

設定後徐々に暗くなり設定時間30分で消灯します。

〈点灯状態からのおやすみタイマー動作イメージ〉



おやすみタイマー設定
おやすみボタンを押す
→「ビビビ」と音がなり、30分に設定できます。
常夜灯点灯時も設定できます。

おやすみタイマー解除

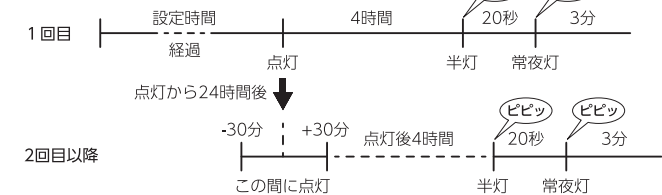
おやすみボタンを長押しする
→「ビビビ」と音がなっておやすみタイマーが解除されます。
おやすみタイマー以外のボタン(調光ボタン、常夜灯ボタンなど)を押しても、「ビビビ」と音がなっており、おやすみタイマーは解除されません。
※留守番ボタンを押しても解除されません。

ご注意

- ・壁スイッチを切ったり、停電したりすると、おやすみタイマーは解除されます。
- ・タイマーで消灯した場合、再点灯させるには、リモコンで点灯させるか、壁スイッチを短く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えて点灯させてください。
- ・タイマーの時間を延長する場合は、もう一度おやすみタイマーボタンを押します。設定前の明るさに戻り、設定された時間で徐々に消灯します。

留守番モードを使う

毎日繰り返し、ほぼ24時間ごとに1回全灯し、約4時間後に消灯します。期間を決めて動作させることはできません。2回目以降の点灯時刻は、最初に設定した時刻の前後約30分の間でランダムに変わります。



留守番モード設定 (留守番ボタンを押してから1分以内に設定をしてください。)

①留守番ボタンを押す
→「ビビ」と音がなり、留守番モードを設定する状態になります。
②明ボタンを押す
留守番モードで点灯させるまでの時間(1時間単位:1~24時間まで)と同じ回数押してください。
押し過ぎたときは、暗ボタンを押して戻すか、最初から設定し直してください。
※留守番ボタン以外のボタン(全灯ボタン、常夜灯ボタンなど)を押しても、「ビビビ」と音がなっており、留守番モードは解除されません。
③留守番ボタンを押して設定完了
→「ビビ」と音がなった後に、設定時間を押した回数「ビビ」となり、設定をお知らせします。

留守番モード解除

留守番ボタンを長押しする
→「ビビビ」と音がなると留守番モードが解除されます。
※壁スイッチを切ったり、停電したりしても、留守番モードは解除されません。
留守番モードが解除されると、設定時間もリセットされます。

ご注意

- ・メモリー点灯中やラスト点灯中に留守番モードによる点灯時刻になった場合、全灯には変わらず、そのまゝの状態点灯を続けます。
- ・製品の仕様上、長期間留守番モードを使うと、点灯・消灯時間が大きすぎる場合があります。1週間ごとの再設定をおすすめします。
- ・留守番モードを設定するときは、1分以内に設定を完了(留守番ボタンをもう1回押す)しないと解除されます。この場合は、最初から設定し直してください。